

実用ドイツ語演習Ⅱ(その1)

2単位 3年(前期)

石川 榮作・教授 / 人間文化学科

【授業目的】 この授業では、実用ドイツ語Ⅰでの学習を基礎として、特に読む、聴くという言語運用能力の養成に重点を置く。

【授業概要】 できる限り実際に使われているドイツ語のテキストや音声に触れる。基本的な実用テキストを独力で読める程度の読解力と、ゆっくり話される簡単なドイツ語を聞き取り、概略を理解する能力の獲得ができるようにする。

【キーワード】 ドイツ語、読解力、会話、ヒアリング

【先行科目】 『実用ドイツ語演習Ⅰ(その1)』(1.0)

【関連科目】 『実用ドイツ語演習Ⅲ(その2)』(1.0)

【履修上の注意】 国際文化と欧米言語の両コースで実用ドイツ語演習をメインに履修する学生は、Ⅱと並行してⅢを受講しなければならない。しかしそれ以外の学生は、実用ドイツ語Ⅰを4単位受講済みであることを条件に、2単位ごとに実用ドイツ語演習Ⅱを単独で受講することができる。またこの授業は、ドイツ語検定を受検したい学生にも適している。

【到達目標】 ドイツ語を読み聴く実用的能力を身につけ、あわせてドイツの社会と文化を直接に知ることができるようになる。

【授業計画】

1. グリム童話『ヘンゼルとグレーテル』講読とヒアリング(1)
2. グリム童話『ヘンゼルとグレーテル』講読とヒアリング(2)
3. グリム童話『ヘンゼルとグレーテル』講読とヒアリング(3)
4. グリム童話『ヘンゼルとグレーテル』講読とヒアリング(総まとめと小テスト)
5. 実用ドイツ語テキスト講読(1)
6. 実用ドイツ語テキスト講読(2)
7. 実用ドイツ語テキスト講読(3)
8. 実用ドイツ語テキスト講読(総まとめと小テスト)
9. グリム童話『灰かぶり』講読とヒアリング(1)
10. グリム童話『灰かぶり』講読とヒアリング(2)
11. グリム童話『灰かぶり』講読とヒアリング(3)
12. グリム童話『灰かぶり』講読とヒアリング(総まとめと小テスト)
13. 実用ドイツ語テキスト講読(4)
14. 実用ドイツ語テキスト講読(5)
15. 実用ドイツ語テキスト講読(6)
16. 実用ドイツ語テキスト講読(総まとめと小テスト)

【成績評価】 授業への取り組み(50%)と授業の中でときどき行うミニテスト(50%)で評価する。

【再試験】 有

【教科書】

- ◇ 特定の教科書は使用せず、プリントを配布する。
- ◇ 必ず辞書を持参すること。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219204>

【連絡先】

⇒ 石川 (088-656-7142, ishikawa@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 毎週 金曜日 15時から16時)